

平成25年度

登録左官基幹技能者認定試験問題（60分）

九州ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題（四肢択一法）

3. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 本冊子は、表紙を含めて10頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
- (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

一般社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題 1 登録基幹技能者の現場での役割りに関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 施工方法等の提案・調整
2. 設計者への適切な指示、作業方法、手順等の構成
3. 施工に係る指示・指導
4. 前工程・後工程に配慮した連絡調整

問題 2 登録左官基幹技能者講習を受講するための要件に関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 1 級左官技能士、2 級建築施工管理技士等の資格の保有
2. 実務経験のうち職長経験年数 3 年以上
3. 10 年以上の実務経験
4. 他職種の国家資格の保有

問題 3 登録基幹技能者の現場業務の実態に関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 登録基幹技能者は、建築主に対して、「品質確保」「工期短縮」「安全確保」等の協力を行っている。
2. 現場で日常的に行っている 1 3 の業務では、「施工方法の決定」「技能者への作業指示・指導」「担当工程の進捗管理」「品質の確認・検査」「労務の手配」「作業手順書の作成」「資機材等の手配」「安全パトロール」「出来形の確認・検査」の 9 つの業務に関して、登録基幹技能者が「自らが担当」、または、「元請と共同」が 6 割以上を占める結果となっている。
3. 登録基幹技能者は、「技能者の指示、指導」「他の職長との調整」等の業務を行っている。
4. 登録基幹技能者は、「元請のサポート役」として寄与している。

問題4 登録基幹技能者の現場での品質管理の例に関して、最も不適当なものはどれか。

番号	職種	前工程		後工程	
		調整相手	調整を行った内容	調整相手	調整を行った内容
1.	左官	型枠大工	型枠精度の確認と工程	塗装・吹付工	仕上材による下地の精度の確認
2.	鉄筋	屋根工事	捨てコンクリートの出来によって鉄筋施工品質にも影響するので、コンクリート打設精度向上を要求した。	電気設備工事	配筋後の鉄筋上にムダな資材を載せない様に打合せをした。また、コンクリート打設に対して配筋等の乱れが生じない様に要求した。
3.	板金	外部サイディング工事	下層がシート防水のためサイディングを落とすとシートが傷つくため、先にサイディングを張ってもらった。	鷹工事	足場をジャッキベースで高さ調整できるようにしてもらった。高さ調整してシート材を入れる。
4.	防水	左官工事	防水下地の形状、精度および工程の調整。	伸縮目地工事	目地施工に対して、防水層は問題ないか確認、工程の調整。

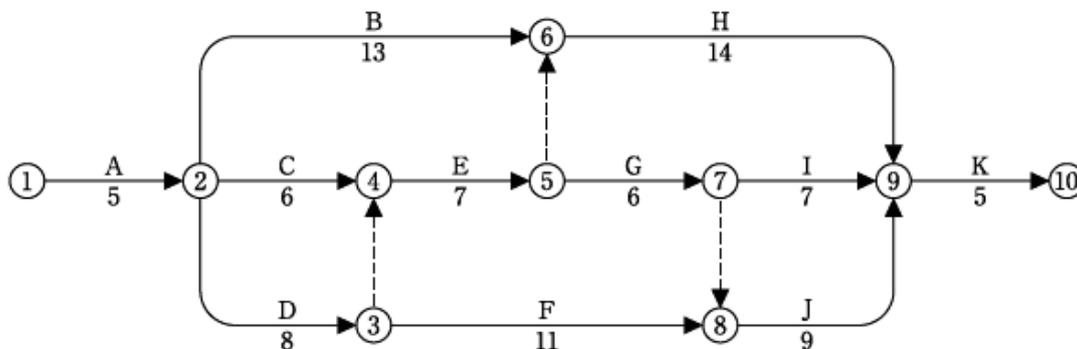
問題5 元請企業団体における登録基幹技能者等を支給の対象とする優良職長手当制度に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 施工品質の確保や向上
2. 安全通路の確保
3. 作業工程の安定・短縮
4. 施工に関する提案や調整

問題6 OJT教育における指導方法に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 指導と、仕事の与え方とは深く関係があり、登録基幹技能者次第で、仕事の能率や部下の成長の仕方も微妙に違ってくる。
2. 指導で大切なことは、指示通りにやらせることではなく、自分で考え、工夫させ、それを試させ、その結果を評価してやることである。
3. 指導において、上司に叱られることで部下が意欲を無くすことが次のステップにつながり重要である。
4. 指導で部下の能力等を向上させる基本的な手法のひとつには、教える→やってみせる→やらせてみる→修正する、といったことを繰り返すことがあげられる。

問題7 下図の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



1. 工程表において、①から⑩までの総所要日数は、40日である。
2. 工程表において、クリティカルパスは、A-D-E-G-J-Kである。
3. この工程表は、ネットワーク式工程表である。
4. 工程表において、作業Dと作業Gがそれぞれ2日間遅延したときの総所要日数は、42日である。

問題8 建設業法上違反となるおそれがある「不当に低い請負代金」の行為事例に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 元請負人が、自らの予算額のみを基準として、下請負人との協議を行うことなく、下請負人による見積額を大幅に下回る額で下請契約を締結した場合
2. 元請負人が、契約を締結しない場合には今後の取引において不利な取扱いをする可能性がある旨を示唆して、下請負人との従来取引価格を大幅に下回る額で、下請契約を締結した場合
3. 元請負人が、下請代金の増額に応じた場合
4. 元請負人が、契約後に、取り決めた代金を一方的に減額した場合

問題9 建設業法施行令において、建設工事の見積期間の内容に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 工事一件の予定価格が5百万円に満たない工事については、5日以上
2. 工事一件の予定価格が5百万円以上5千万円に満たない工事については、10日以上
3. 工事一件の予定価格が5千万円以上の工事については、15日以上
4. 上記の2および3の期間は、5日以内に限り短縮することができる

問題 10 ブレーンストーミング(BS)の手法を用いて行う場合に関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 連鎖反応により豊富で多彩な情報を得ることができる。
2. 競争心により自由で活発な意見を得ることができる。
3. ゲーム感覚で誰もが楽しく話し合いをすることができる。
4. 20人以上の大人数で行うほうが、より多くの情報を得ることができる。

問題 11 仕上塗材の種類および呼び名に関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 内装セメント系薄付け仕上塗材は、内装薄塗材 C のことである。
2. 内装消石灰・ドロマイトプラスター系薄付け仕上塗材は、内装薄塗材 W のことである。
3. 外装合成樹脂エマルジョン系厚付け仕上塗材は、外装厚塗材 E のことである。
4. 内装せっこう系厚付け仕上塗材は、内装厚塗材 G のことである。

問題 12 せっこうボード下地の適用仕様に関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. せっこうボード (GB-R) は、薄塗り仕上げに適している。
2. 開口部の出隅には、継ぎ目を設けないように一枚のボードを切り搔いて割り付ける。
3. せっこうラスボード (GB-L) は、厚塗り仕上げに適している。
4. せっこうボードの取付けの釘の間隔は、250 mm以下とする。

問題 13 左官下地と塗り層との寸法変化(ムーブメント)に関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 相対ムーブメントをディファレンシャルムーブメントという。
2. 熱冷ムーブメントをサーマルムーブメントという。
3. 相対ムーブメントとは、異なった材料の境界面でおきる変形挙動をいう。
4. 熱冷ムーブメントとは、湿潤と乾燥の繰り返し変化によっておきる変形挙動をいう。

問題 14 塗り壁の故障の組み合わせに関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 細かい砂 — 網状ひび割れ — 粗めの砂を混ぜる。
2. エフロレッセンス — しみ・はく離 — 仕上げ材料を塗り重ねる。
3. 風化したセメント — 硬化不良 — セメントを取り替える。
4. 下地の吸水小 — はく離・ひび割れ — 吸水の適正化をはかる。

問題 1 5 住宅瑕疵担保責任保険設計施工基準の記述に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 通気構法において、外壁に用いる防水紙は、JIS A 6111 に適合する透湿防水シートまたはこれと同等以上の透湿性能および防水性能を有するものとする。
2. 直張りに用いる防水紙は、JIS A 6005 のアスファルトルーフィングフェルトに適合するアスファルトフェルト 430 またはこれと同等以上の防水性能を有するもの（ただし、透湿防水シートを除く）とする。
3. アスファルトフェルト 430 は、18 kg巻／42 mのアスファルトフェルトのことである。
4. 防水紙は、張り付け時にサッシ、壁、貫通孔等の周囲に防水テープを用いて密着させる。

問題 1 6 材料・工法の記述に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 防水モルタルとは、防水性能をもっているセメントモルタルのことである。
2. せっこう系セルフレベリング材の施工では、 β 型せっこうを使用する。
3. ブリージングとは、コンクリートおよびセメントモルタルの練り混ぜ水の一部が分離して上方に移動する現象である。
4. レイタンスとは、コンクリート表面に形成される不硬性物質の層のことである。

問題 1 7 左官工事に要求される品質管理に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 必要な強度と表面は、硬度が高いことが要求される。
2. 仕上げ面が平坦であること（真壁についていえば、ちりがそろっていること）。
3. 仕上げ面の状態（色調平滑度または粗面度）が全壁面に関して一様であること。
4. 設計上要求される耐火、防水、遮音、吸音、断熱、湿温調節などの性能を備えていること。

問題 18 コンクリート表面の処理方法に関して、最も不適当なものはどれか。

番号	処理方法	適用目的	概要	留意点
1.	高圧水洗浄	目粗し、脆弱層の除去	高圧水洗いの吐出圧力 50～150 N/mm ² 、吐出圧と運行速度は、コンクリート強度などによる。	下階への水対策を検討する必要がある。
2.	サンダー掛け	目粗し、脆弱層の除去	ディスクサンダーあるいはカップサンダーによってコンクリート表面を目粗し、水洗いにより表面に付着した粉塵を除去する。	特別な工具を必要とせず、作業は容易、埃や音の発生がある。施工のばらつきが出やすいので見本などを作成し管理する。
3.	ブラシ掛け	清掃、脆弱層の除去	左官用ブラシあるいは刷毛によりコンクリート表面を擦り、塵埃や脆弱層を除去する。	作業は簡単だが、施工管理が曖昧となりやすい。水洗いを併用する。
4.	専用シートによる凹凸処理	コンクリート表面への凹凸付与	ポリエチレンフィルム製専用シートを型枠に取り付け、コンクリート表面への凹凸を付与し、それがモルタルに食い込むことにより、はく離を防止する。	専用シートの廃材が発生するため、その処理対策を講じておく必要がある。

問題 19 施工計画における事前調査に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 発注者の業績および企業の信用調査を行う。
2. 地形・地質・土質・土壌・植生・動物・地下水の調査などを行う。
3. 騒音・振動などに関する環境保全基準、各種指導要綱等を確認する。
4. 動力源、工事用水の入手方法を検討する。

問題 20 仮設備計画に関して、最も不適当なものはどれか。

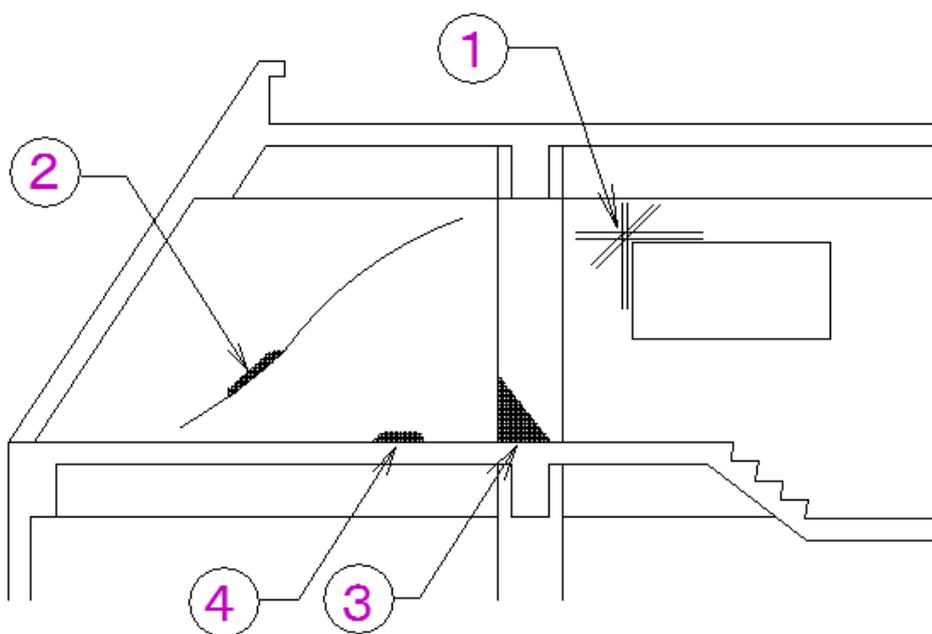
1. 仮設備工事は、工事の目的とする構造物ではなく、臨時的なものであって工事完成後原則として取り除かれるものである。
2. 仮設備は、本工事とは異なり、大規模で重要なものであっても、発注者から規模・仕様等を指定されることはない。
3. 仮設備という呼び方につられて、ややもすると、手を抜いたり、おろそかにされやすく、事故の原因となり、かえって多くの費用が必要となる場合もある。
4. 仮設備は、使用目的、使用期間等に応じて、その構造を設計し、強度計算を行う。

問題 21 積算・見積・実行予算の関係に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 見積りとは、概算または詳細な数量積算により工事費の予測を行う作業を指す。
2. 実行予算は、通常、作業所長などその工事現場を担当する責任者が入って作成する。
3. 実行予算は、ゼネコンが行う現場での原価管理の基準・目標となる。
4. 実行予算とは、見積り提出をした内訳項目そのものに、その工事を実行するための費用をできるだけ精密に予測・算出したものである。

問題 2 2 下図のようなコンクリートの打設不良が発生した原因に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 図中の①の部分では、開口部の周りに開口補強筋が配筋されている場合が多く、鉄筋が密になり、コンクリートが流れにくく充填不足を示したものである。
2. 図中の②の部分は、打ち継ぎ時間の遅延および打設面での再振動不足により、コールドジョイントおよび豆板の発生を示したものである。
3. 図中の③の部分は、柱上部から打設されたコンクリートは落下高さがあるため、セメントペーストと骨材が分離し、豆板の発生を示したものである。
4. 図中の④の部分は、コンクリートの横流しにより、充填不足の発生を示したものである。



問題 2 3 わが国の建設業における労働災害の現状についての次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. わが国の建設業における死亡者数は、全産業比の 30%を占める。
2. わが国の建設業における近年の死亡者数は、年に 300 人を超える。
3. 建設工事全体の死亡事故の型別で見ると、倒壊による事故が 45% と圧倒的に多い。
4. 建設業の安全対策が難しい理由の一つとして、作業内容が日々変化するため作業員の作業の慣れによる安全効果が期待しにくいことが挙げられる。

問題 2 4 法で定められた建設現場における安全管理についての次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 数業者が混在する現場の 1 次下請けや 2 次下請けの業者は、安全衛生責任者を選任する必要がある。
2. 複現場労働者数の合計が 200 人の場合、1 人の安全衛生責任者を選任すれば良く、特に統括安全衛生責任者を必要としない。
3. 特定元方事業者は現場で新たに就労する作業員に対して、新規入場者教育を実施する必要がある。
4. 作業主任者の配置が必要な作業として、高さ 5m 以上の足場の組立または解体の作業がある。

問題 2 5 各種労働災害防止対策についての次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. リフォーム工事では、電気やガスなどが既に設置されているので安全作業に支障をきたすことはない。
2. 熱中症予防対策として、WBGT（暑さ指数：湿球黒球温度）値を使用することが有効である。
3. 高さ 2m 以上の所で 足場作業や鉄骨作業などを行う場合、必ず作業床を設置しなければならない。
4. 脚立やはしごを使用する場合は、常に正しい使い方をする。